

WAKU
WAKU
RYODEN

Business Report

株式会社RYODEN

2025年3月期

中間株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

証券コード：8084



創業100年に向け、 ワクワクを生み出し続ける RYODENを目指します。

取締役社長 富澤克行



株主の皆さまには、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに当社グループ2025年3月期の中間株主通信をお届けするに当たりご挨拶申し上げます。

本年度（2025年3月期）を最終年度とする5ヶ年の中期経営計画「ICHIGAN 2024」も残すところ半年となり、代理店・商社の枠を超えた「事業創出会社」に向けて、様々な成果を実感できるようになってきました。新規事業の創出、コア事業の生産性向上、事業推進基盤の強化を軸に取り組んできましたが、ルネサス製品の取扱終了による影響や新規事業の収益性の遅れなどにより、残念ながら当初計画（業績目標）には届かない見通しです。しかしながら、総じて戦略面での遅れはないと認識しています。

特に事業創出会社への変革に向け、最大のテーマとして取り組んできたソリューション提案や新規事業の創出、データ活用によるリカーリングビジネスへの展開には具体的な成果が出始めており、数字以上の手応えを感じています。

例えば、「Remces（レムセス）」についてはエネルギーマネジメントの基幹システムとして、今までお取引のなかった中

規模メーカー様への導入が進んでおり、明らかに裾野が広がってきました。また、「Pescler（ペスクル）」についても害獣に関連する異物混入が問題となっている食品業界に一挙に拡大する兆しがあります。植物工場（スマートアグリ）についても、当初計画していた単一品種・大量生産型から多品種・付加価値型のビジネスモデルに転換したことが奏功し、工場野菜を生産する子会社、ブロックファームでは足元で単月黒字化を実現しています。消費者との距離が近いハウス食品様との共同開発も進めており、これからは「こう作れば売れる」といったビジネスモデル付きで植物工場（スマートアグリ）への投資を促していこうと考えています。

「事業創出会社」を目指す当社にとっては、付加価値の高いリカーリングビジネスのウェイトを高めることで、収益性の向上を図るとともに、外部環境の影響を受けにくい収益構造へ転換していく方針です。

▶ 中間期の業績

足元の業績について、当中間期は売上高1,096億25百万円

(前年同期比▲15.6%)、営業利益24億35百万円(同▲42.5%)、経常利益27億30百万円(同▲36.7%)、親会社株主に帰属する中間純利益19億36百万円(同▲33.2%)と減収減益の結果となりました。

▶ 通期の見通し

通期の見通しにつきましては、期初に予想した数値に対し、売上高2,180億円(増減率▲0.5%)、営業利益55億円(同▲23.6%)、経常利益58億円(同▲20.5%)、親会社株主に帰属する当期純利益43億円(同▲18.9%)と修正をいたしました。

冷熱ビルシステムは、期初予想どおり堅調に推移し、またエレクトロニクスも産業及び民生向けは顧客の在庫調整が継続するものの、車載向けは好調に推移しています。

しかしながら、FAシステムで国内顧客の在庫消化の遅れに加え、中国経済停滞の長期化により当初想定していた下期からの回復が来期以降に遅れると見込まれることが理由となります。

▶ 株主還元の方

当社グループでは、資本コストや株価を意識した中長期的

な企業価値の向上を重要な経営課題と捉えております。指標となるPBR1倍超の実現に向けては「収益力の強化」「株主還元強化」「IR活動の強化」の3本柱で取り組んでいく方針です。

このうち、株主還元につきましては、中長期的な安定配当を維持・継続しつつ配当性向40~60%を目安に還元いたします。この方針に基づき、当期の剰余金の配当(中間)につきましては、期初の予想どおり1株あたり53円、期末配当予想につきましても1株あたり53円(年間106円)としております。これにより、配当性向は54.1%となる予定です。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

個人投資家説明会・動画配信のご案内

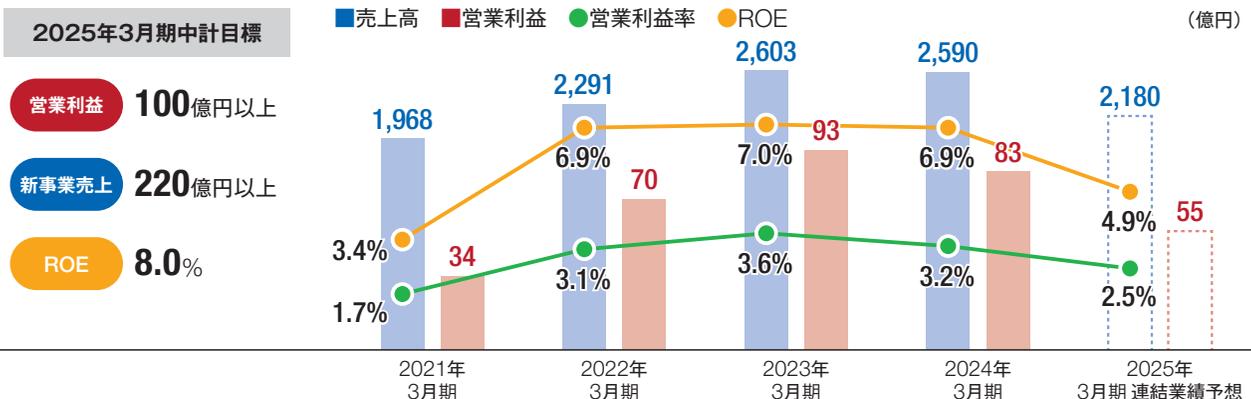


個人投資家の皆さまを対象とした「個人投資家説明会」を随時開催しております。2024年9月、取締役社長富澤克行がプレゼンテーションする説明会を実施しました。その模様は、オンデマンド配信をしておりますので、ぜひご視聴ください。

<https://www1.daiwair.jp/qlviewer/e-cast/2409018084pBKAlkta/index.html>

ICHIGAN 2024

(億円)



事業別の状況

エレクトロニクス

売上高
構成比
60.9%

売上高

667億84百万円
(前年同期比 23.7%減)

営業
利益

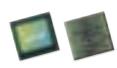
15億64百万円
(前年同期比 43.9%減)

国内では、車載関連市場は中国向けの落ち込みや一部OEMにおける認証問題の影響を受けたものの、好調な北米向けを中心に全般的にはメモリやセンサーIC等の販売が堅調に推移しました。産業機器市場は中国の景気減速を受けて受注が低迷し、顧客の過剰在庫による調整局面が続ぎ、パワーデバイスを中心に低調に推移しました。

海外子会社では、東南アジア地域の車載関連向けメモリ等の販売が堅調に推移したものの、中国地域では長引く市場の停滞により民生・産業機器関連向けアナログ半導体等の販売が低調に推移し、車載関連顧客も日系を中心に低調に推移しました。また、主要取扱製品の販売終了の影響も受けました。



三菱電機(株)製
SiCパワーモジュール



OMNIVISION製
CMOSセンサー



Micron Technology, Inc.製
LPDDR5

冷熱ビルシステム

売上高
構成比
14.1%

売上高

154億60百万円
(前年同期比 8.4%増)

営業
利益

7億64百万円
(前年同期比 18.7%増)

インバウンドが回復したこと、省エネニーズ及び暑熱対策ニーズを取り込んだことにより、店舗用エアコン、ルームエアコンや低温設備機器の販売が堅調に推移しました。

ビルシステム分野では、建設市場における資材高騰などの影響を受けましたが、環境やエネルギーに配慮した設備案件の受注獲得により好調に推移しました。

三菱電機(株)製



三菱電機(株)製
設備用パッケージエアコン

三菱電機(株)製



三菱電機(株)製
展望用エレベーター



クボタ空調(株)製
エリア空調機室内機

FAシステム

売上高
構成比
21.4%

売上高

234億48百万円
(前年同期比 8.2%減)

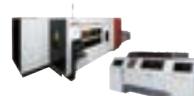
営業
利益

6億6百万円
(前年同期比 50.7%減)

エンドユーザー向け省人化・省エネ化システム案件が伸長した一方、国内の設備投資及び中国経済の減速により、生成AI関連の半導体製造装置メーカーを除き製造業向けの販売が低調に推移しました。



三菱電機(株)製協働ロボット
(MELFA ASSISTA)



三菱電機(株)製
レーザー加工機



三菱電機(株)製
シーケンサ

X-Tech (クロステック)

売上高
構成比
3.6%

売上高

39億67百万円
(前年同期比 54.5%増)

営業
利益

△86百万円
(前年同期△2億38百万円)

ヘルスケア分野では、医療機関の設備投資が減少したことにより、大型画像システム等の販売が低調に推移しました。

ICT分野では、当社の独自商材であるビデオマネジメントシステム「FlaRevo」やRFID関連製品は低調に推移しましたが、PC・サーバーをはじめとしたIT機器関連の販売は堅調に推移しました。

スマートアグリ分野では、持分法適用関連会社であった株式会社ファームシップを連結子会社化した影響で増収となりました。引き続き、植物工場野菜、フードテック関連の研究開発・生産・販売・ブランディングを提供できる体制を整え、データドリブンで収益性の高いスマート農業の実現に向け、当社独自サービスの構築に取り組んでいます。



次世代型植物工場
BlockFARM



ビデオカメラソリューション
FlaRevo



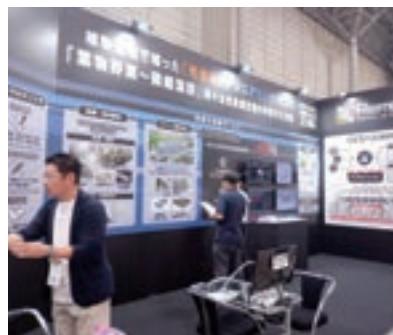
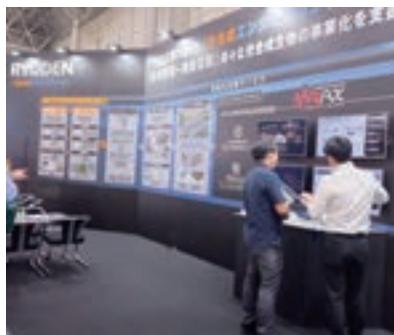
医療情報システム
(イメージ)

トピックス ①

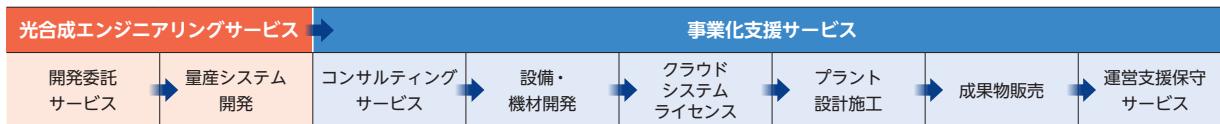
スマート農業EXPOに出展

当社グループは、2024年10月9日(水)～11日(金)に幕張メッセで開催されました、第11回スマート農業EXPOに出展をいたしました。

当日はブース展示において、いままです当社グループが植物工場事業で培った「光合成エンジニアリング」により、「葉物野菜～微細藻類」等、様々な光合成生物の事業化を来場者の皆さまに支援するサービスをご紹介しました。



光合成エンジニアリングを活用したサービス



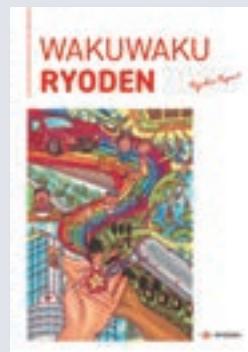
今後も当社グループは、積極的な取り組みによる次世代農業サービスを通じて、食(農)の持続可能な社会に貢献します。
スマートアグリ事業：https://www.ryoden.co.jp/business/introduction/smart_agri

トピックス ②

統合報告書2024を発行

統合報告書「Ryoden Report 2024」を、「当社の今、そして“ワクワク”する未来が見えてくるような誌面にしたい」という想いで、従来の社長メッセージやCF0メッセージ、社外取締役メッセージに加えて、上席執行役員の座談会、新たな価値創出の進展、オリジナル製品群の事業ブランドのご紹介、人的資本マネジメントページの充実など、新たな企画や投資家が注目されている内容を盛り込み製作いたしました。

変化の激しい現代において、当社が代理店・商社の枠をこえた事業創出会社への変革を加速していく姿と想いが皆さまにお伝えできれば幸いです。



当社ウェブサイトにて公開しています
https://ssl4.eir-parts.net/doc/8084/ir_material_for_fiscal_ym2/163702/00.pdf

連結業績ハイライト

連結経営指標の推移

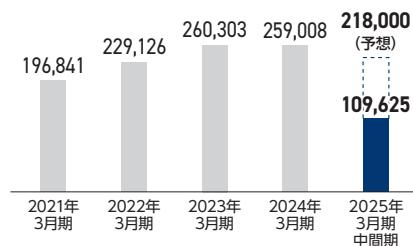
(百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 中間期
売上高	196,841	229,126	260,303	259,008	109,625
海外売上高	34,259	43,897	47,281	47,382	24,572
海外売上高比率 (%)	17.4	19.2	18.2	18.3	22.4
営業利益	3,415	7,062	9,380	8,326	2,435
経常利益	3,653	7,285	9,077	8,236	2,730
親会社株主に帰属する当期純利益	2,343	5,004	5,366	5,736	1,936
総資産	125,529	140,970	151,049	156,027	143,856
純資産	69,919	74,766	79,898	87,083	89,210
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,939	△7,623	△199	9,942	7,932
投資活動によるキャッシュ・フロー	183	△1,326	△1,251	△710	△301
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,052	△883	△115	△2,283	△589
1株当たり当期純利益 (円)	107.79	229.99	245.93	262.43	88.44
1株当たり純資産 (円)	3,208.01	3,427.24	3,652.29	3,976.49	4,060.61
1株当たり配当金 (円)	56	58	74	106	53
売上高営業利益率 (%)	1.7	3.1	3.6	3.2	2.2
自己資本当期純利益率 (ROE) (%)	3.4	6.9	7.0	6.9	2.2
総資産経常利益率 (ROA) (%)	2.9	5.5	6.2	5.4	1.9
自己資本比率 (%)	55.6	52.9	52.8	55.7	61.9
従業員数 (人)	1,289	1,214	1,242	1,360	1,457

連結業績ハイライト

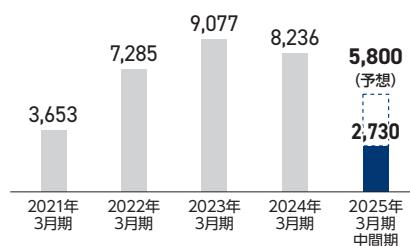
売上高

(百万円)



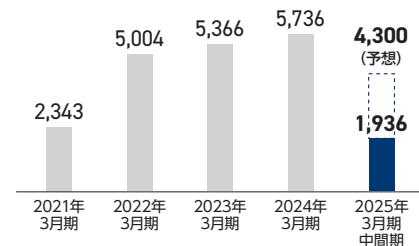
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



会社の概要

(2024年9月30日現在)

商号	株式会社RYODEN (RYODEN CORPORATION)
創立	1947年4月22日
資本金	103億3,429万8,875円
従業員数	連結1,457名(単体1,091名)

株式の状況

(2024年9月30日現在)

発行可能株式総数	56,550,000株
発行済株式の総数	22,824,977株 (うち自己株式 886,409株)
株主数	28,442名

大株主(上位10位)

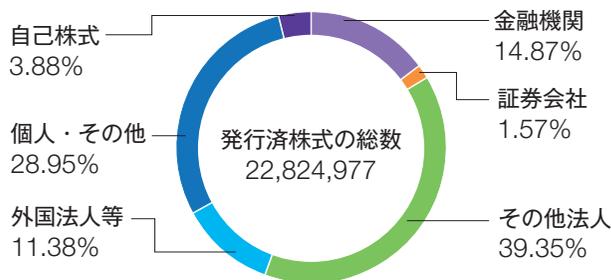
株主名	持株比率(%)
三菱電機株式会社	35.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10.07
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2.28
RYODEN従業員持株会	1.99
シチズン時計株式会社	1.89
BBH BOSTON FOR NOMURA JAPAN SMALLER CAPITALIZATION FUND 620065	1.70
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	1.68
東京海上日動火災保険株式会社	1.49
光通信株式会社	1.47
THE BANK OF NEW YORK, TREATY JASDEC ACCOUNT	0.98

役員の状況

(2024年9月30日現在)

氏名	地位	担当及び重要な兼職の状況
富澤 克行	代表取締役社長	
東 俊一	取締役 常務執行役員	事業部門管掌 デバイスシステム事業本部長
與五澤 一元	取締役 常務執行役員	管理部門管掌 戦略部門管掌 経営企画室長
松尾 英喜	社外取締役(独立)	(東洋エンジニアリング株式会社 社外監査役)
藤原 悟郎	社外取締役	(三菱電機株式会社 営業本部事業企画部長)
小笠原 由佳	社外取締役(独立)	(日清食品ホールディングス株式会社 社外取締役) (株式会社藤村総合研究所 取締役)
友森 裕三	取締役 常勤監査等委員	
関口 典子	社外取締役(独立) 監査等委員	(関口典子公認会計士事務所 所長) (東京応化工業株式会社 社外取締役 監査等委員) (王子ホールディングス株式会社 社外監査役) (独立行政法人国際協力機構 監事)
トーマス・ヴィッティ	社外取締役(独立) 監査等委員	(アーキス外国法共同事業 法律事務所 東京経営パートナー)
大庭 康	常務執行役員	中日本支社長 T-PRO担当代行
常盤 泰丸	常務執行役員	東日本支社長 兼 東日本支社東北エリア統括長

株式所有比率グラフ



株主還元

配当金

当社グループは、経営基盤・財務体質の強化のための内部留保の拡充と事業拡大のための投資財源への活用を基本として、株主各位への適正な利益還元を実施してまいります。

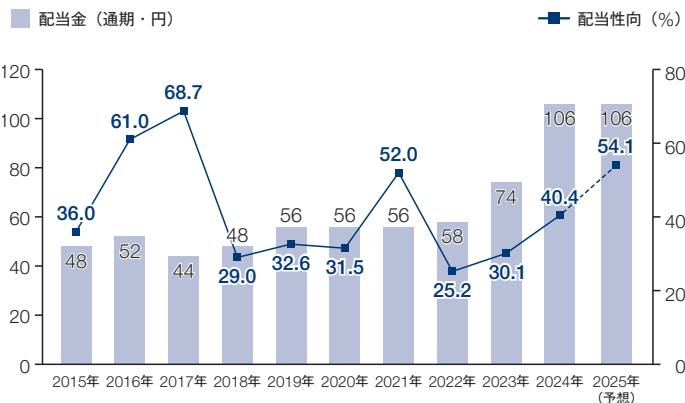
剰余金の配当につきましては、各事業年度の連結業績及び中長期的なグループ戦略等を勘案のうえ配当性向40～60%を目安に利益還元を実施します。

2025年3月期は中間配当53円、期末配当53円（予想）とし、年間配当は前期と同額の106円を予想しています。

株主優待

株主の皆さまの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的としております。

毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主様を対象といたします。対象株主様に対して、保有株式数及び継続保有年数に応じて金券（クオカード）を贈呈いたします。



保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
100株以上 1,000株未満	クオカード2,000円分	クオカード3,000円分
1,000株以上	クオカード3,000円分	クオカード5,000円分

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領	期末配当金 3月31日
株主確定日	中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1
同連絡先	TEL 0120-232-711 (通話料無料) <郵送先> 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法	電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.ryoden.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
------	---

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続が必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
環境に配慮した植物油インキを使用しています。